

# 筑紫鍼灸院

旧暦 極待月  
春 晩 冬

かのえ たつ  
庚辰 2000年

## 平成12年 1月

# 養生之暦

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四
----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----

月 31	旧暦 十一月	小寒	朔 日 07:23 出 17:24 月 07:32 月 17:53	旧暦 十一月	上弦 日 11:56 月 11:56	望 日 07:21 出 17:47 月 07:07	下弦 日 00:07 月 11:46
------	--------	----	---	--------	--------------------------	------------------------------------	--------------------------

## 謹賀新年

さらに星を追って初日の戀しけれ

晩冬 統計によれば平年より一度程高い気温が続いた昨年でしたが、冬はやはり冬です。寒い日が続いています。

天の邪鬼には、ただ月が変わるだけのことではある年越しですが、人間の営み文明の理解が浅いのだというほかりません。文字による暦を持たない未開の人たちでさえ、気象、星の運行、植物の盛衰の周期性から、四季や年の観念を内包した生活を営んでいる訳で、ZENE、YENARA、EYARA、なのは万人の祈りです。そんな心性からすると、一年の始まりは春であるべきで、新暦二月、早春の気配が兆す立春の頃を年の始めとする旧暦の方が地上の自然のリズムに叶っています。まさしく新春とはこのことです。

今年キリスト誕生二千年、はやりグロバルスタンダードの元祖がイエス様を起点とする西暦にあつたのだと改めて思い知らされます。多勢に無勢、金持ちには逆らえぬのですが、和暦やイストラム暦などの国粹主義もよいものです。今年昭和で言うところ七十五年です。

私事ですが、十年來時々痛んでいた腰が本式に痛み出し、少々辛い日々です。椎間板症と診ていたのですが、整形のM先生の診察と一言検査等の結果、椎間板ヘルニアが認められ、若い頃から巨大ヘルニアの持ち主でM先生のもとで手術を受ける寸前から鍼灸に転向したM先生の治療を受け、根性腰痛と坐骨神経痛で泣いた患者のMさんからは「よかこつですたい」と誉められて、痛みで眠れぬ夜があることを、同情ではなく共感できる身分になったことを、治療者として楽しみ研究しております。でも痛い！



廿五

言壽ぎてあわす手につくくあたたかき  
こころのみちて年新たなり

# 筑紫鍼灸院

旧曆 睦月 初春  
初春

平成 12 年 2 月

# 養生之曆



廿六	廿七	廿八	廿九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五
旧曆 十二月	節分	立春	朔 旧大正月 日出 07:12 日没 17:53 月没 06:17	旧曆 一月						旧七正月		上弦 月没 11:49 日出 00:35						雨水	望 旧小正月 日出 06:57 日没 18:07 月没 18:47								下弦 月没 00:43 日出 11:29	

## 枯れ葉落ち梢は星を宿したり

初春 三日節分、四日立春、五日は旧正月と本当の新春の頃となりました。とは言っても、春は名のみで北半球全域を襲っているらしいこの所の寒波で寒い日が続いています。久しぶりに背振や三郡の山々に雪化粧が見られました。

都市生活者にとって旧正月は縁薄いものですが、地方によっては今でも伝統行事が盛んに行われているところもあるようです。正月を春節や新明節など称すには、新歴の一月ではチト早すぎます。折衷に拘りのない日本人の特性からか、関西以西では正月は新暦、お盆は旧暦、関東圏では両方とも新暦、小正月の行事を残している地方でさえ、どんど焼きなどは新暦で行われたりしています。

小正月は、千数百年前、当時の先進地シナで作られた太陰太陽暦が伝来する以前の、朔月ではなく望月を月の始まりとしていた暦による正月です。一年の始まり、春の農事の始まりを、満月の元で藁を焼き、モグラを追って祈り祝う、二千年以上も昔の記憶が小正月の行事には刷り込まれています。旧暦小正月は日付で十九日、月齢でいうと二十日です。

暦は起点の取り方で年や月や日、時刻でさえも数え方に差異があり、その差の中にそここの文明の持っていた智慧が見てとれます。一日の始まりを日没にとるイスラム暦もあれば、日の出を始まりとする暦もあります。イランの手帳には三種類の日付が記されているそうです。

夜中十二時を零時とするのは何故か、考えていたら眠れなくて暦についてあれこれと考え、結局、暦は太陽と月と地球とそこに生きる生命の関わり合いの百科事典だということに気づかされました。二十九日半で生命と月のリズムは同期し、太陽のリズムは四季によつていのちを育んでいます。

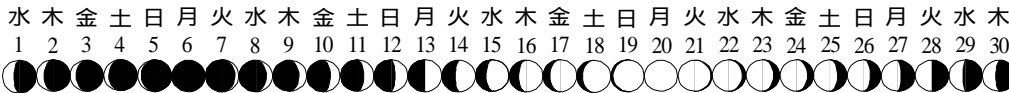
過ぎし子の齢かぞふる人ありて願ふは一寸たあれかしと

# 養生之曆

平成 12 年 3 月

旧曆 如月 仲見月 春

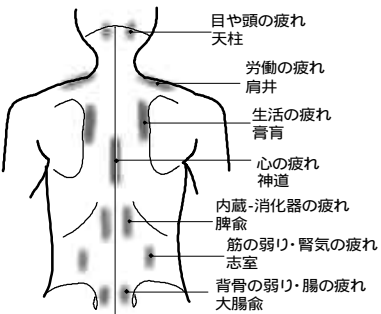
# 筑紫鍼灸院



廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	
旧曆 一月	啓蟄	朔			旧曆 二月					上 弦					彼 岸 入 り			春 分	望			彼 岸 明 け							下 弦	
日出 06:41	日出 06:41	日出 06:41	日出 06:41	日出 06:41	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50	日出 06:50
月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50	月没 06:50
月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20	月没 18:20

金 31  
廿六

生まれたるゆえなぞ知らずさく花に  
はてなき思ひ散らであれとも



無雑作にゆく人のあり春は膏  
仲春 五日啓蟄、二十日春分、陽は一  
日一日と長く高く、光は満ちあふれ、草  
摘みが楽しみな候となりました。背振山  
中の溪流沿いに芽吹くネコ柳探り、大神  
さんのセリ摘みも春の訪れの年中行事。  
我が家の犬は早々と冬毛が抜けかけてい  
ます。  
月二回、ほぼ二週おきに刻まれる二十  
四節気は、太陽の周期性、四季循環の節  
目として、月齢に基づく陰暦を修正する  
役目を持っていました。旧暦は正確には  
太陰太陽暦、現代の暦は太陽太陰暦とい  
います。  
今月は理屈抜きに、少し治療家らしい  
紙面で手抜きです。左図は、背部の疲労  
のたまる場所、反応の現れる部位と、代  
表的なツボの名前をあげています。疲れ  
が亢じ、病をなす、というのが原理だと  
しますと、疲れのうちに対処できるもの  
は解消しておくことが大切です、それが養  
生ということになります。

# 筑紫鍼灸院

旧曆 弥生月  
花見 春  
晩

平成 12 年 4 月

# 養生之曆

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六
----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----

旧曆 二月	清明	朔 06:00 18:43 06:31 19:12	上巳の節供 灌仏会	旧曆 三月	上弦 11:08 00:39	望 穀雨 06:42 18:53 19:23 06:11	下弦 01:26 11:57
----------	----	---------------------------------------	--------------	----------	----------------------	--	----------------------

## 行春をおしみて月の朧哉

晩春 四日清明、二十日穀雨、七日は旧曆の桃の節句です。節供・節句は、人日（じんじつ一月七日）、上巳（じょうし三月三日）、端午（たんご五月五日）七夕（たなばた七月七日）、重陽（ちようよう九月九日）など、それぞれの季節の到来を祝い、日々の営みに節目つける式日でした。この五節供の他に季節の節目などを祝う日は節日ともいい、元旦、白馬（あおうま）、踏歌（とうか）、相撲（すまい）、豊明（とよのあかり）などがあつたと言います。現代人には元旦くらいしかわからないのですが、花見の宴を「豊の明かり」などと言ってみるのも雅というが一興です。

節供の起源は古く、整備された太陽暦である二十四節気の成立よりもはるか以前、農耕の起源にも先行した太古の自然暦的な太陽暦で、広くモンsoon地帯各地にみられます。人々は節供の日に山野に集い、歌や踊りに興じ、特別の粥や餅や粽（ちまき）などを饗食し、祝い祈ったのでしよう。節日や節供の行事を言う節会（せちえ）が訛つたと思われるおせちもその特別食の一つでした。

惜春の候、開放感にあふれた旧曆三月上旬の巳の日、上巳の節供では、明るく生命的な自然の躍動の中で、人々は歌垣に興じ野行で交歓しあい、生きつぐ力を授かったのでしよう。修身道德の教祖のように思われている孔子様は、政治や社会にまつわる大望などよりも、晩春の山野遊行に価値を置くというようなことを論語の中で述べています。

曆に込められた文明の智慧は、ただ単に農耕や日常生活の節目を示すだけではなく、心の甦を解きほぐし、生きつぐ力を再生奮起する、そのような生を養う役目を果たしていたのだと言えます。

うす墨の花のたもとよこたへ  
思ひはいがむくるとなりぬ

# 養生之曆

平成 12 年 5 月

旧曆 卯 月  
花 残 月  
初 夏

# 筑紫鍼灸院

月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

廿七	廿八	廿九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七
----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----

八十八夜	旧曆 三月	朔 立夏 05:26 19:04 05:40 19:06	旧曆 四月	上弦 12:12 01:14	望 05:16 19:14 19:09 05:19	小満	下弦 00:42 11:38
------	-------	---	-------	----------------------	---------------------------------------	----	----------------------

水 31  
  
廿八

初夏 一日は八十八夜、五日は立夏。曆の上では夏はすぐそこ、Mさんは星野で恒例のお茶摘みだそうです。これからしばらくは気持ちのいい山野行きが楽しめる季節です。Nさんの新品の靴とリュックもきつと役に立つことでしょう。

夏河を越すつれしさを手に草履

江戸中期の俳人蕪村のこんな感覚が、まったくそのまま現代人の心にも届くのは、不思議なようですが、インターネットとは何の関係もない、不易なものが確かにあるという当たり前のことでもあります。

薫風を纏いて山の午睡哉  
段だらに夏色染めて君が胸

腰痛その後 私のヘルニアは、M先生のきつい鍼治療がよく効いて、九十六パーセント沈静化したようです。日常生活は何ら支障なく、六時間程は寝ることができるようになりました。そもそも、深酔で寝がえりもほとんど打たずに長時間寝たことに腰痛発症のきっかけがあったと自覚しているので、寝るのに気を遣っています。腰に目覚まし時計をセットしているみたいなのです。

いつも疑問に思っているのは、腰痛の説明(理屈)がヘルニアで百パーセント可能かどうか、ということ。私の場合も、腰痛が鎮静していること、ヘルニアの出っ張り具合の間にどんな関係があるかよく解らないところがあります。また、よく言われることですが、鍼治療でヘルニアの出っ張りを直せる訳ではないのに、腰痛が鎮静するのは何故なのでしょう。出発点が、腰痛≠ヘルニアという図式が違っているのかも知れませんが。

月光に影なしそつとひとりぬて  
酔ひたる相でまよなかなになる

# 養生之曆

平成 12 年 6 月

旧曆 皇 月  
早 苗  
仲 夏

# 筑紫鍼灸院

木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

廿九	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----

旧曆 四月	朔		芒種	旧端午	旧五月	上弦	入梅			望						夏至						下弦							
日没 05:09							12:11			日没 05:08												00:23							
日出 19:23							00:35			19:30												12:22							
月没 04:56										19:46																			
日出 19:02										05:15																			

表秋をさがして君と風に乗り

仲夏 四日は芒種、十日入梅、二十一日は夏至です。曆の上では、昼間が最も長い夏まつ盛りの候なのですが、現代では梅雨明け後の七月頃にならぬと「夏」という感じがしません。

旧曆四月、五月は、寒暖の主調、陰陽が交代したあと一気に陽気が盛んになって、陰陽のバランス調整が難しく、つまりは自律神経が不安定になりやすい時期です。東洋医学では、このような段階を陽明と言い、陽気の隆盛が過ぎる躁、その反動で陽気が沈んでしまった鬱、と心が病む状態を身体機能から説明しています。五月病と呼ばれる状態でしょう。

喘息に代表される呼吸器の過敏的な諸症状も、陽気が一気に盛んになる、こんな時期の病の一つです。実は、私も連休前後から鼻炎症状が気管支炎様になり、その果てに喘息症状を発症する貴重な体験をしました。左足親指の付け根に多発する水疱を発端とし（連関はよく分からないのですが）前後して夜間横になれぬほどの咳発作、次第に胸部の閉塞感に襲われ、白濁したり透明だったりの粘潤な痰が次から次ぎに混々と湧き、胸の奥や喉を塞ぎ呼吸困難を呈したのです。おかげで起座でなければ眠れぬ夜が週の半分ほども続き、AさんやMちゃん、Oさんの苦しみを思い知らされました。

ワイルという米国の医者は、自身の病や外傷の時にできるだけ何もせず、じつと様子を観て、自身の体内で起きている変化、心の動き、感覚の変化を詳細に観察した体験談を書いて、同業専門家にも「病む」ことを見つめるようにと勧めています。私もその例に倣って、二週間は治療らしい治療は一切せずに、苦しい夜を体験し続けてみました。

やはらかき月の調べはわが恋に

憂き世のはての思ひを運び

# 養生之曆

平成 12 年 7 月

旧曆 水無月  
田草月  
晩夏

# 筑紫鍼灸院



世 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九

旧曆五月	朔		旧曆六月	小暑	上弦					新曆盆	望										大暑												下弦
日出 05:12 日没 19:33 日没出沒 05:26 日出 20:01					日出 12:03 月没 ---:--					日出 05:20 日没 19:29 日没出沒 04:46											日出 05:12 日没 19:19 日没出沒 04:46									日出 ---:-- 月没 12:13			

咳てやがて西なく刻となり  
 晩夏 七日は小暑、二十二日は大暑、本番の夏です。子ども頃、休みの前日がそうであったように、七月中の夏休みのうれしさは格別でした。少年期が黄金であるかどうか、現代では定かではないのかも知れませんが、輝きはきつとあるはず。  
 喘息後日 正確には咳発作と言うべき病態はほぼ一ヶ月続いています。夜が怖い・・・はいささかオーバーですが、眠れぬ夜のあることを、自身の体内で起きている変化、心の動きと共に確かめる日々でした。夕食時、晩酌のビールを飲んでしばらくすると、気道の狭窄感が胸を刺し、気管の粘膜に粘稠い分泌物が滲み出てきます。この段階では、水分の含有が少なく、咳による喀痰はなかなか難渋します。ウイスキーや焼酎のお湯割りではどうかと試してもみましたが、結果は同じです。早朝まで咳に付き合う覚悟がいるとなると、少し勇気のいる晩酌です。死ぬのは怖くないみたいなのが、りはあっても、痛い苦しいは難儀なもので、「酒が飲めない」はヤバイ話です。  
 ともなくも、数時間不快な咳と胸の閉塞感が続く、次第に痰は水分を帯びてきて、咳と共に胸の奥からボンと喉の天井に飛び出して張り付くほどの塊をなしてきます。塩味も程良く効いて、ト口味もあり、喉を乾かす食感はあるながらフカヒレスープ！吐き出して水に浮かべると細い気管を象っているのか立派な策状物で、ゼリーが片栗の素麺のように、なるほどと感心することしきり（HさんやSさんの眉はひん曲がりそうです）。  
 咳発作は、細い気管支に滲みだした粘稠な分泌物が紐状の塊となって気道に栓をしているのを、胸や横隔膜の衝撃的な運動ではがして追い出す合理的な働きです。問題は、何故そんな分泌物が生じるのか、です。  
 風さやぎ青田をわたるレオロンの  
 さらへは語るなこの日の午後

月 31  
 一  
 日出 05:29  
日没 19:20  
日出 05:17  
日没 19:35

# 養生之曆

平成 12 年 8 月

旧曆 文月 月  
七夕 初秋  
初

# 筑紫鍼灸院

火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 一 二

旧曆  
七月

立秋

上弦  
月出 12:50  
月没 23:57

旧曆  
盆

望

日出 05:40  
月出 19:05  
日没 19:20  
月没 05:20

処暑

下弦  
月出 ---:--  
月没 13:14

朔  
八期

旧曆  
八月

日出 05:50  
月出 18:49  
日没 05:14  
月没 18:55

木  
31



三

二百十日

雨脚のうつす心やけぶりたち  
初秋 七日立秋、二十三日処暑、二十九日八朔、三十一日は二百十日で今年も残りは百五十日余り。まだまだ日中は酷いものがありますが（涼しいところにいる！）、もう少しの辛抱です。久住の朝夕はもう秋の気配が感じられ、陽も少しずつ短くなっています。お盆まであと二週、今頃クーラーを買わなくて・・・  
最近の吉報 変形性関節症とされ、起居や歩行にかなり難儀していた八十歳のSさんの膝痛が短期間に軽減したこと。多くの膝痛を、関節の動的安定性の低下に伴う「緩慢な捻挫」と考える小生の持論は、治療や予後や養生の理解を容易にしてくれます。太ももの筋力強化は巷でよく行われていますが、脛の捻れや膝の皿の骨の動きを調節していると考えられる、ふくらはぎの内側の筋肉の調整はあまり知られていません。この筋肉の柔軟性を高め、その動きを改善する治療や養生は、膝痛対策として特筆すべき事項です（自画自賛！）。

ぜんそく後日 夜間の咳発作はようやく鎮まり、よく眠れる日々が戻ってきた（眠れるようになったせいで寝腰が痛い）。ただ、日中突発的に気管の狭窄感があり、一瞬不安に襲われることがあります。この時に咯出される痰は策状ではなく、ゼリー状の小塊で塩味が薄いものです。痰の性状や形や味は、気管支の病態を正確に反映しているようです。

思い通りにならない身体、不安に翻弄されまなならぬ心、重くはなかつたけれど病んだ体験から色々と考えさせられた。男の更年期だという自虐めいた感想もあります。身体の異常や障害を、心が病んでしまうこと、それが人の病ではないか、という考え方ができそうです。

雲の間にかからふ月の追いかけし  
真夏の宵のてらのはむれ

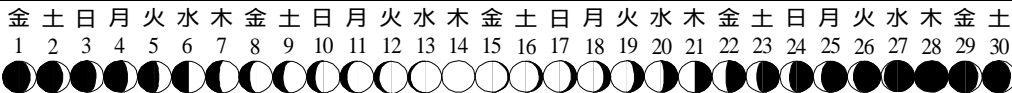


# 養生之曆

平成 12年 9月

旧曆 葉月 仲秋 月 秋

# 筑紫鍼灸院



四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三
旧曆 八月				上弦 白露		重陽 (新)		十五夜		望		彼岸入り		秋分		下弦 彼岸明け		朔		旧曆 九月									
				月出 13:29 月没 23:51						日出 06:00 日没 18:29 月出 19:01 月没 06:03				月出 23:42 月没 13:16				日出 06:10 日没 18:08 月出 06:16 月没 18:41											

白露をすくひて洗ふ朝路かな

仲秋 七日白露、二十三日秋分。お彼岸を過ぎれば今年も余すところあと三ヶ月です。が、太平洋側に居座っている夏型の高気圧のため、熱帯夜がつづく残暑もきびしいものがあります。それでも、先月末に登った久住山山頂の朝は、簡単な防寒衣だけでは五分とじっとしておれないほどの風と寒さでした。五合目でも沢山のススキが秋を告げていました。

「緩やかな捻挫」続き。さまざまな動きに伴って関節を安定した状態に保つ働きが低下していると、ケガと意識するほどでないちよつとした日常の動作などによつてさえ「捻挫」に近い緩やかな外傷が生じ得ます。この関節の動的安定性を支えているのは、一にも二にも筋力、そして、アライメントと呼ばれる構築上のバランス、つまりは姿勢やフォームです。筋力低下と不良姿勢・フォームを改善することが、動かすと痛む各種の関節痛の治療や養生の根本にあります。

精神科医の中井久夫の言葉。

・このごろ生命の大切さを教えようとしていますが、自分以外の人間に心があることの発見(心の直観)のほうがもっと大切です。自分は、「自分と同じおあぜいの中の一人」であり、同時に、「自分以外の人間と置きかえられないかけがいのないのちと心を持った人間」です。この二つの「人間の条件」を実感する体験が子どもの時にぜひ必要です。

自分以外の心の発見、心の直観とは、自分の発見であり、自分の心の発見ということでしょうか。自分という一人称は、茫漠としてとらえどころなく荒れ狂っていた世界が、二人称として立ち現れる他者の心によつて画され、内面として象られた心を直観する主のようです。「殺すな」という命題の自明さは、この一人称の作り方いかんにかかっています。

夏の夜のはむらり群るものたちの  
はがななくあやしこいの姿

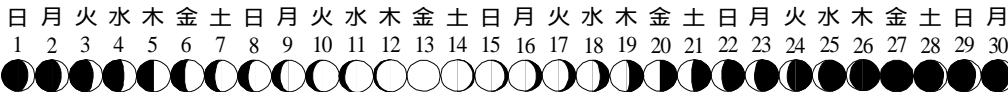
# 養生之曆

平成 12 年 10 月

no. 50

旧曆 長月 月  
苗刈 刈月  
晩 晩秋

# 筑紫鍼灸院



四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 廿 廿一 廿二 廿三 廿四 廿五 廿六 廿七 廿八 廿九 一 二 三 四

旧曆  
九月

上弦  
重陽 (旧)  
月出 13:05  
月没 23:17

寒露

十三夜

望

日出 06:22  
日没 17:48  
月出 18:05  
月没 05:50

下弦

月出 23:39  
月没 13:10

霜降

朔

日出 06:33  
日没 17:32  
月出 06:06  
月没 17:46

旧曆  
十月

火  
31



五

空かけて田とにたるとがね種は  
なびきつ立てり秋風のもと

この養生の曆も今回で五十回目となりました。四年もよく続いたものと我ながら感心感心。ヘタな歌と一人称の作り方いかん、などの訳の分からない戯言八割、二割は実用を考慮したつもり。

蕩尽と言え、季節や人生の節目を祝い祭る「ハレ」の行事儀式は、戦争や災害の蕩尽ほどではないにせよ、平和な過剰消費の機会です。ハレを祝い祭ることが少なくなった現代日本の家族や個人の生活に、メリハリをつける新しい曆が必要なのかも知れません。

戦争と災害は文明を活性化すると言われることがあります。無いに越したことはない戦争と災害ですが、蓄積するばかりでは腐ってくる事もあるもの、時に少しばかり蕩尽することも必要なのでしょう。消費拡大が言われながら手堅い消費に踏みとどまり貯蓄率は最高水準の日本と、現金の貯蓄率マイナスイチで消費意欲旺盛のアメリカとの差は、国民性の問題なのか分からぬところがありますが、おかしな両極端ではあります。

しかし、大風が一度も吹かないことでバランスが崩れることもあるようで、大風が吹き混せ掃除してくれて保たれる自然もあります。日本海などは台風の影響が少なく、深い層と浅い層の海水が混ざらず、浅い海水層の塩分濃度が下がって海洋生物の繁殖や分布に影響が出て、漁業の不振が心配されるとも言います。

晩秋 六日は重陽(菊の節句)、八日寒露、二十三日霜降。温暖化の影響ということで、台風が発生数やその進路が年毎に変わっているようです。お陰で福岡地方は台風の影響が一度もなく、稲作、野菜、果樹などの農作には豊かな収穫の秋となったようです。

行く秋やいろめは深し曼珠沙華

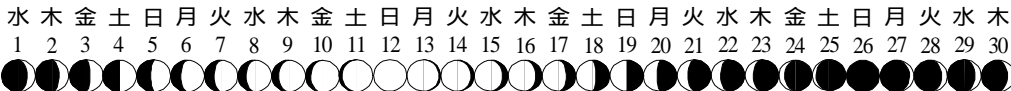
# 養生之曆

平成 12 年 11 月

no. 51

旧曆 神無月  
神時雨  
初冬

# 筑紫鍼灸院



六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三	四	五	
旧曆 十月	文化の 日	上弦 月 13:14 出 23:45			立冬					望 日 06:47 出 17:18 月 17:52 月 06:43							下弦 月 13:29		小雪	勤勞感謝の日				朔 日 07:00 出 17:11 月 06:56 月 17:33	旧曆 十一月					

## 秋桜を敷く山並みや時雨たり

初冬 七日立冬、二十一日は小雪、暦の上では新しい季の始まり、九州場所と共に冬がやって来ます。二千年の暦も残すところあと一枚。百の単位をセンチユリーとはこれ如何、と言ってもサブイと言われるだけです、ゼロを数えない世紀数は数え年の親類なのでした。

このところの寒暖差は天候不順といってもよい位の落差の大きな気象変化でしたが、慣れっこになっているのか、あまりニュースにはならないようです。が、この朝夕、日々の寒暖差は、身体調節の働きとって大きな荷物となっているようで、多くの人が風邪様や鼻炎様の症状に悩まされています。この種の不調の主因は、外からくる病原体そのものにはなく体内温を恒常に保つ自律神経の調節力が外気の変化に追いつかないことにあるように考えられます。小生も喘息が少し出て、クタクタになった夕食の春雨の如き痰が胸を塞ぐ夜半を数日過こし、AさんMちゃんと同病共感の日々でした。

話は変わって、金曜毎に表面化する企業破綻の波もまだ続きそうですが、経済合理性について少し。IT革命の行き着く先、生産と供給と消費の効率化の究極的な姿を考えると、消費者の消費の元手を得る機会と場が極限的に小さく狭く、人対人の関係のうち収斂してしまつような概念変化があるように思われます。人類最初の職業が、人類最後の職業でもある、と言ってしまう身も蓋もない話ですが。

合理性の始源には非合理が、終末には不合理が、という道筋を描いてみれば、宗教の合理性、経済の合理性、科学技術の合理性が、それぞれ独立して成就し得ないのだという、これまた当たり前の人類史を見通せるだけの地点に私たちはいるようです。

秋の夜のため息まじる月観より  
雨を聞きこもる思はむ

# 養生之曆

平成 12 年 12 月

no. 52

旧曆 霜月 仲冬  
待月 雪仲

# 筑紫鍼灸院

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	廿	廿一	廿二	廿三	廿四	廿五	廿六	廿七	廿八	廿九	卅	一	二	三	四	五
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---

旧曆 十一月	上弦 12:58 月出	大雪	望 07:12 出没 17:11 17:15 06:37	下弦 12:44 月没	冬至	天皇誕生日	朔 07:21 出没 17:17 07:35 17:43	旧曆 十二月
-----------	-------------------	----	---	-------------------	----	-------	---	-----------

色づきてはじの木独り佇みぬ

仲冬 七日大雪、二十一日は冬至。昼が最も短い時期。福岡では日の出が最も遅いのが一月中旬で七時二十三分頃、日の入りが最も早いのが十二月下旬で十七時十分頃となっています。午後三時を過ぎると、すでに夕暮れの気配を感じさせるこの頃ですが、それも峠に達しています。これからが寒さ本番なのですが、一日と日没が遅くなるわけで、「冬冬たりなば春遠からじ」は、帰宅をせかす夕暮れが少しずつ遅れることの実感です。時々、鍼には何の薬が着いているのか、「かいてびつくりします。質問の主にとつて、薬という「物」を媒介しないことには治療が成り立つはずがないという常識があるのでしょう。注射という方法が発明されたのは、十八世紀頃の西欧だったのですが、その発明のヒントになったのが当時シナから伝来した鍼治療だったという説があります。

近代医学の基礎は、外科と内科に対応して言えば機械工学と魔術です。薬というのは古今東西を問わず、いつも魔力をもった外在的な物そのものでした。それはおれであつても同じことです。対して鍼灸治療はと言うと、物を体内に注入することなどは全くなく、身体の仕事みや働きを当て込んでのみ成立する脳天気な治療法と言えます。自然治癒と特別な言葉を用意しなくとも、生命とは侵襲に対する修復の過程そのものです。傷を受けそれが癒えていく、その本源にある働きや力は生命そのものの過程であり、何ものにも代替できない事柄です。生きている身体は、修復されるべく出来ている、という信仰が私たちの治療を支えているように思われます。

かりもがりゆふべにみゆる寝すがたの やすらびさまに勞ひはらふ

日 31  
  
六